

吉田 文雀 人形浄瑠璃文楽人形遣い

- 昭和 3年 東京生まれ。
昭和20年 文楽座入座。二代吉田玉市の預かりとなり、吉田和夫と名乗る。
昭和25年 三代吉田文五郎の弟子となり、四ツ橋文楽座において吉田文雀と改名。
平成 6年 重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される。
芸域は極めて広く、女形遣いとして常に充実した舞台を見せているとともに、

立役、^{たちやく}敵役^{かたきやく}から^{ふけやく}老役まで広くこなす、昭和から平成を代表する人形遣いの一人

である。また、豊富な知識と経験により、役に用いる^{かしら}首を決める、^{かしらわり}首割委員も務めている。

【おもな受賞歴】

- 昭和43年 昭和42年度因協会奨励賞
昭和54年 国立劇場優秀賞
昭和56年 大阪文化祭賞
昭和57年 第1回国立劇場文楽賞文楽大賞
昭和63年 芸術選奨文部大臣賞
平成 3年 紫綬褒章
平成 6年 大阪府知事表彰
平成 6年 兵庫県文化賞
平成 8年 第15回国立劇場文楽賞文楽特別賞
平成10年 大阪芸術賞
平成11年 勲四等旭日小綬章 他多数